

【円覚寺境内図】

今もなお、

中世の雰囲気が残る境内

円覚寺の伽藍は、鎌倉独特の谷戸と呼ばれる

丘陵地が浸食されて出来た谷に沿って建てられています。

三門を入り、仏殿、方丈へと徐々に登っていく配置は、

この土地の高低差を生かした壮大な空間をつくりだしています。

